

大分市上下水道局経営戦略の策定にあたり、市民の皆様をはじめ多くの方から貴重なご意見等をお寄せいただきありがとうございました。お寄せいただきましたご意見のうち、経営戦略に反映させていただいたものを一部抜粋して掲載させていただきます。なお、お寄せいただきましたご意見は、整理・要約しています。

「大分市上下水道経営戦略」ご意見等反映一覧

番号	市民	経営評価 委員会 アドバイザー	頁		内容	反映結果
			水道	下水		
1		○	4	31	目標値はあるが、目的が分かりづらいので、大分市の水道・下水道が目指すところ（理念）を示すのはどうでしょうか。	水道法・下水道法による事業の目的を追記しました。
2		○	19 20	50	再生可能エネルギーの利用があまりないように思えます。太陽光発電や電力の入札など、水を使用するのに必要な電力の議論をもっとする必要があるのではないのでしょうか。	水道事業ではP19,20において、公共下水道事業ではP50において、「省エネルギー化によるコスト縮減」の取組みを追記しました。
		○			温暖化や省エネに関する項目が少ないので、公有財産の有効活用による収益確保と再生可能エネルギーの活用の2本立てを、それぞれ取組項目として確立させ、環境に配慮した計画を立てていることをアピールしたほうがよい。また、何か考えていることがあるならば、項目内に「省エネについて調査・研究します」という旨を明記したほうがよいと思います。	
3		○	25 26		「⑧水道料金体系の適正化」というタイトルは、体系より水準のほうが広義で一般的ではないのでしょうか。	タイトル及び文中の「水道料金体系」を「水道料金水準」へ修正しました。
4		○	25 26		何のために料金水準の適正化を図るのか目標設定するべきではないのでしょうか。	目標に「水道水の需要増大を図る」という文言を追記し、料金収入の見通しのグラフを料金収入の適正化の試算に水道水の需要増加を加味したものに修正しました。
5		○	26		水道料金水準の見直しにあたっては、経営評価委員会に諮ることをルール化してはどうでしょうか。	「料金水準の見直しの際は、外部の経営評価委員会に諮り意見書をいただきます。」を追記し、ルール化については別途検討します。
6		○	27		未給水地区の写真を掲載してはどうでしょうか。	未給水地区の施設の写真を掲載しました。
7		○		52	PPP/PFIという用語は、一般の人にとって耳慣れないので分かりやすくしてほしい。	PPP/PFIの前に官民連携の用語を付け加えるとともに、それぞれの説明を追記しました。
8		○		55 56	下水道事業だけでなく、都市計画と連携しながら街づくりに取り組んでいることを明記した方がよいと思います。	⑫の取組み項目名を「公共下水道計画区域の見直し」に修正、取組み内容に同じ文言を追記し、説明文中に都市計画と連携して整備を行うことを明記しました。
9		○		57	年度別改築事業費（管路施設）を見ると、整備費と改築・修繕費を合わせていますが、この費用には収益的収支の維持管理費が含まれているのでしょうか。	収益的収支の維持管理費は含まれていないため、「改築・更新」と修正しました。
10		○		58	水質基準を満たすことは別府湾の環境保全につながることを表記してはどうでしょうか。	公共下水道事業計画の上位計画につながる「別府湾流域別下水道整備総合計画」を追記しました。

上下共通項目

11		○	64		ICT・IoT技術の活用についても検討してはどうでしょうか。	ICT・IoTの技術の活用について、新たな取組み項目を追記しました。
12	○		64		支払方法をクレジットカードやアプリ払いの検討をしてほしい。	クレジットカード決済については、手数料が高額で経費の増加に見合う収納率の向上につながらないことなどから導入については考えておりませんが、アプリ払いについては、第4章の4.2に追記しました。
13		○	65		観光やまちづくりと連携した取組みについても記載してはどうでしょうか。	第4章に4.3 マンホール蓋を活用したまちづくりの項目を追加し関係各課の協力について追記しました。
14		○	67 68		温暖化や省エネに関する項目が少ないので、公有財産の有効活用による収益確保と再生可能エネルギーの活用の2本立てを、それぞれ取組項目として確立させ、環境に配慮した計画を立てていることをアピールしたほうがよい。	「資産の有効活用」については、第4章4.6に移動しました。
15		○	69		組織統合したので、連携の項目に⑤「水道と下水道の人事交流」を加えてはどうでしょうか。	⑤に人事交流について追記しました。
16		○	74		広域連携についての状況が分かりづらいので分かりやすくしてはどうでしょうか。	大分県内の状況をより詳しく表記しました。さらに広域連携の今後の具体的な取組みを追記しました。
17		○	75 76	77 78	中核市の中での順位で、悪い数値が出ているものについては、経営診断書のように理由をコメントなどで明記したほうがよいのではないのでしょうか。	経営指標の説明に加え、分析についても追記しました。
18		○	表紙		大分らしさ、テーマを伝える副題をつけるのもいいと思います。	「未来へ渡そう美しい大分 上下水道3653日の挑戦」としました。